

～世代交代に対応した生産システムの確立～

第七回 “草津の頑張る企業！”

平井製作所株式会社

(草津市平井3丁目9-3 TEL:077-563-8300)



代表取締役 平井 重樹 氏

今回紹介する「平井製作所株式会社」さんは創業25年、草津市平井の住宅街の一角に事業拠点を構え、大手自動車用スポーツマフラーメーカーとの取引により、金属部品溶接加工を行っておられます。

溶接の技術力と高品質、短納期対応、コストパフォーマンスの高さが同社の強みであり、取引先からの評価も高く、受注件数も増加傾向にありました。しかしながら、以下の二つの理由から同社における生産力の維持ができなくなり、年々増加する受注の全てに対応できず、昨今、機会喪失に頭を悩ませる日々が続きました。理由の一つ目は、年数を重ねる中で社内の従業員の世代交代が進み、高い溶接技術を有する熟練工が少なくなってしまったこと、二つ目は溶接技術の習得には長い時間が必要となるにも関わらず、若い従業員の技術習得が上手く進んでいなかったことでした。今後の売上拡大のためには、高品質を維持しつつ、生産力を高めることが必



▲同社が導入したデジタル溶接システム。品質の均一化と作業速度の向上が同時に図れる。右上の写真は本システムにより行った溶接部品。溶接歴数十年の熟練工の仕上げにも引けを取らず、見た目の美しさと強度を持ち合わせています。

要不可欠と考えた平井社長。熟練工でなくても均一品質が維持できる体制を整えるため、新システム導入と従業員の作業効率を意識した作業場環境の整備を主軸に生産性向上のため



▲同社が開発したロールベンダーにて加工された金属筒。巻き始めから終わりまでがキレイに仕上げられています。

の事業計画書を策定し、システム導入等、作業場改善の取り組みを実施されました。

“事業計画にもとづき取り組みを進めた結果、品質の均一化が図れるようになり、従業員の作業効率も向上してきています。”と成果を語る平井社長。これらの取り組みが取引先からも再度評価され、現在も受注増加傾向にあるとのこと。

また、大手メーカーの下請けとしての事業が主ですが、その中で築いてきた技術を活かし、自社製品を開発したいと考え、ロールベンダー（薄板ロール加工機）を製造。ロールベンダー最大の課題である“端曲げ”が不要で、一度の加工で正円の筒型成形が可能となり、作業効率も大幅に上昇するとのこと。“自社製造のため、価格も安価に設定でき、競合製品との差別化が図れます。本製品をきっかけに新たな販路が開拓できればと考えています。”と平井社長。

今後の展開を常に見据え、日々事業、販売戦略の立案に取り組んでおられます。